

各 位

上場会社名	太洋物産株式会社
代表者	代表取締役社長 柏原 滋
(コード番号)	9941)
問合せ先責任者	執行役員 総務部ジェネラルマネージャー 宮内 敏雄
(TEL)	03-5333-8080)

商品評価損の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、商品評価損の計上、及びそれに伴い平成22年8月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,000	△160	△360	△1,470	△175.29
今回発表予想(B)	40,443	△1,128	△1,369	△2,774	△330.83
増減額(B-A)	443	△968	△1,009	△1,304	
増減率(%)	1.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年9月期)	53,377	△3,432	△3,688	△3,508	△418.35

修正の理由

当社主要取引先であった大豆油糧株式会社の民事再生手続き開始の申立に伴ない特別損失を計上しましたことにより、平成22年8月12日付で「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で平成22年9月期の業績予想を修正いたしましたが、同社向けに販売を予定しておりました食品用大豆の在庫保管料98百万円が発生し、国内食用大豆市況の低迷もあり、一部を飼料用・搾油用として転売せざるを得ない状況になったことから、評価損5億99百万円及び期末に保有しておりました他の商品分も含め、商品の評価損7億99百万円を計上しました。その結果、営業利益で9億68百万円の損失が増加し、当事業年度におきまして、営業利益11億28百万円の損失となりました。

経常利益に関しましては、営業損失増加分の9億68百万円に加え、支払手数料及び支払利息等の増加で、10億9百万円の差が生じ、13億69百万円の損失となりました。当期純利益では、販売管理費の削減の一環として取り組んでいる本社移転に伴う旧事務所の原状回復費用や貸倒引当金の繰入、又今期中に売却益を予定しておりました社有地の売却が次期以降になったことから、当期純利益が27億74百万円の純損失となりました。それらの結果、業績予想を修正いたします。

上記の修正結果を踏まえ、販売が堅調な畜産物及びその加工食品の開発と販売強化、中国での建機・産機の拡販に注力するとともに、経営資源の選択と集中、構造改革による収益改善、社内管理体制の強化、組織改革及び特定販管費の削減、資本増強等の諸策を推し進め、業績の早期回復と安定を図ります。

(注)上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上